

国家財政の見える化委員会開催

第11回 国家財政の見える化委員会

2024年2月26日(月) 13:00～15:00 会場(東京都港区高輪3-23-17 AP品川 アネックス)& オンライン開催

第11回 国家財政の見える化委員会を開催し、今年度の活動進捗状況と今後の活動の方向性について報告・議論を行いました。

本委員会では、シンポジウムの振り返りと今後の意識喚起活動について議論を行いました。

また、「複数年度予算制度」及び「独立財政機関」の提言提出と政策実現に向けた活動について議論を行った他、24年度以降の活動について議論いたしました

Ⅲ. 【報告】 岸田総理・林官房長官へ提言実施予定 **生団連** 27

企業部会決議：政権中枢へ提言実施

岸田 総理

主張：単年度主義の弊害是正

林 官房長官
独立財政機関協議連 共同代表

主張：独立財政機関の設置

Ⅳ. 【提案】 「見える化」について立ち返るタイミング **生団連** 34

委員会発足当初から取り組み続けた「複数年度予算制度」及び「独立財政機関」の提言を発出すれば、一つの区切り

発足から約6年間の活動を総括

次のステップとして「見える化」を
新たな論点へと昇華させたい

【出席者のご意見(一部抜粋)】

- シンポジウムはとても有効だった。今後の意識喚起については、企業への出張講義に取り組んでほしい。
- 政府の情報公開はわかりづらいので、専門のシンクタンクと協働するなどして、国民へダイジェスト版を提示したり、財政の無駄の指摘を行うと一般の方の関心が高まるのではないかな。
- 提言に際して、「複数年度予算制度」や「独立財政機関」でないといけないポイントを明確に押し出していくべき。
- 国家財政の見える化については、何年も取り組んでいるので引き続き頑張りたい。
- 委員会の目的である解消すべき国民の将来不安は何であるか明確にすべき。アンケートからは、経済成長と社会保障が挙げられている。これは、日本が今後どうなっていくか国民がイメージできない状態だと思うので、まずは不安の対象が現状どようになっているか、見える化するだけでも不安の解消に繋がると思う。